

鳥を飼養されている方へ

野鳥や野生動物との接触を避けましょう。

庭や池での放し飼いはやめ、飼育小屋内で飼育しましょう。また、野鳥や野生動物の侵入を防ぐため、飼育小屋の金網などの隙間、破れをネット等で塞ぎましょう。

異常を認めたら速やかに連絡しましょう。

日ごろから飼養している鳥の健康観察を徹底し、もし異常を認めた場合は速やかに総合事務所（中部・西部）又は鳥取市保健所生活安全課に御連絡ください。

【東部（鳥取市保健所）：0857-30-8551 中部：0858-23-3149 西部：0859-31-9320】

異常の例：首を傾けてふらついたり、首をのけぞらせて立っていられなくなるような神経症状、重度の結膜炎等の発症、便の色等の異常

※家きん（鶏、あひる、うずら、七面鳥、ダチョウ、キジ、ホロホロチョウ）について異常を認めた場合は家畜保健衛生所にご連絡ください。

エサ箱や水飲み場に野鳥や野生動物を近づけないようにしましょう。

例えば・・・エサ箱や水飲み場は飼育小屋内又は室内に置く。

エサや水はこまめに取り替える。エサを飼育小屋の外にこぼさない。

水は水道水を与えるようにし、野鳥が飛来する河川や池などの水は与えない。

こまめに清掃と消毒を行いましょう。

鳥を飼っている場所はこまめに掃除し、消毒を行いましょう。

飼育器具（給水容器、エサ箱等）も定期的に消毒を行いましょう。

■ 消毒方法

鳥インフルエンザウイルスは薬局等で市販されている消毒薬で容易に死滅します。

＜よく使用されている消毒液＞

消毒薬：塩化ベンザルコニウム（一般に「逆性石鹼」と呼ばれています。）

購入先：一般の薬局等で販売されています。

希釈濃度：200～500倍（200倍・・・水20リットルに消毒薬100ccを加える。）

方法：噴霧器、ジョウロ等で、鳥小屋全体にかけてください。

※消毒は天候の良い日を選び、定期的に実施するよう心がけてください

※使用に当たっては消毒の際は手袋等を使用し、使用説明書を必ず確認してください

★消毒面積が広い時、小屋周辺の地面や清掃した糞の消毒には、消石灰の散布が有効です。

消石灰：畑の土壌改良に使ったり、グラウンドに白線を引くのに用いられます。

購入先：農協、農業資材販売店、ホームセンターなどで販売されています。

方法：小屋周辺の地面にまいたり、糞にふりかけてください。

飼育小屋へのウイルスの侵入を防ぎましょう。

飼育小屋内は専用の靴（長靴など）に履き替え、飼育小屋の出入り口には、消毒薬を入れた容器を設置し、ブラシを併用して、靴底などをしっかり消毒しましょう。

動物由来感染症を予防しましょう。

動物は自身には病気を起こさなくても、人に病気を起こす病原体を持っていることもあります。過剰な触れあい（口移しでエサを与える等）はやめましょう。

飼養鳥の世話をした後は必ず手を洗い、うがいをしましょう。